

2024 年「ブリリア防災の日」報告 Brillia City 横浜磯子

2024 年 11 月 17 日は「ブリリア防災の日」

ブリリアシティ横浜磯子に住むすべての人が参加する防災訓練の日、それが「ブリリア防災の日」です！

開催日時	2024 年 11 月 17 日（日）午前 10 時から 11 時 30 分 天気：晴れ 気温：19℃
開催場所	ヒルトップ屋上、多目的スペース、 グランドエレベーター(GE)2F ロビー (防災備蓄品、ぬり絵の展示、Brillia City 横浜磯子防災アンケート集計報告)
参加人数	住民：54 名 理事会役員・自治会役員：42 名 東京建物アメニティサポート 3 名 ニチボウ社 3 名 合計 102 名 ※この他、防災ぬりえに参加いただいた子供たち 49 名
訓練内容概要	1.全館放送（9：30）「多目的スペースへの集合！」「バンダナ掲示！」の放送 2.参加者受付（9：30～10：00） 3.自治会田形会長の挨拶 4.参加者による各種訓練 ・かながわ 311 ネットワーク講話 鵜野朋子講師 ・防災委員会からのお知らせ 「よこはま防災力向上マンション」認定報告 「大地震対応基準書」制定の説明 ・応急救護訓練（AED、胸骨圧迫訓練） ・消火栓・水消火器訓練 ・WELL UP 展示見学、マンホールトイレ展示見学 ・カセットコンロ、高密度ポリエチレン袋、鍋を使った防災食の作り方の見学 5.その他の訓練 ・バンダナを使った安否確認訓練 ・防災備蓄品、ぬり絵の展示、防災アンケート集計結果報告（GE 棟にて）

防災訓練の主要点

今回開催のポイントの一つは、「在宅避難」についての知識を深めることです。これについては、田形自治会長の挨拶や「NPO 法人かながわ3 1 1ネットワーク」鵜野講師の講話の中でお話ししていただきました。

また、9月に行った「Brilia City 横浜磯子防災アンケート」について、鵜野講師の講話の中で、住民から寄せられた質問や不安点について、わかりやすくご説明いただきました。

また、これまで制定に向けて取り組んできた「大地震対応基準書」について紹介すること、そしてそ

の中から「ファーストミッションボックス」について現物を見てもらい周知を図りました。



自治会長挨拶



挨拶の中で、防災クイズが行われました。

クイズは3択で、このマンションでの「食料の備蓄」「水の備蓄」について問う内容でした。

回答は、「どちらも備蓄しておらず、それぞれ自分の家で備える必要がある」ということを、わかりやすく説明いただきました。



防災講話 NPO 法人かながわ3 1 1ネットワーク 鵜野朋子講師



鵜野講師には、事前打ち合わせを10月29日に実施した際、防災アンケートの結果と、住民から寄せられた質問や不安点について連携し、その内容を踏まえて当日、参加者の方々の知りたいこととして、お話ししていただきました。

マンションではなぜ「在宅避難」になるのか、横浜市の資料を元に、「避難者」の定義には家屋の全壊・半壊などが対象になるものの、マンションは倒壊しないため「避難者」には該当しないことの説明がありました。また熊本地震の際のゴミの画像や、震度6強の室内被害のビデオ上映もしていただき、「在宅避難」にどう備えたらいいか、具体的な話をいただきました。

また、熊本地震の際のゴミの画像や、震度6強の室内被害のビデオ上映もしていただき、「在宅避難」にどう備えたらいいか、具体的な話をいただきました。

防災委員会からのお知らせ



防災委員長から次の2点の報告を行いました。

①「よこはま防災力向上マンション」認定の報告

今回認定を受けたこと、今後も防災訓練などを充実させていくことなどを報告しました。

②「大地震対応基準書」制定の説明

4年をかけて基準書を制定した基準書について、現在理事会・自治会で内容検証中であるものの、HPにて紹介している旨お話ししました。基準書の中から、ファーストミッションボックスについて、実物を参加者の方に見ていた

だきながら、大地震があった時の対応について説明しました。

「応急救護訓練」



応急救急 AED 訓練の講師は、今年も吉村氏（元消防署長・当マンション在住）にお願いしました。

参加者の方から、「心筋梗塞でステント入れているのですが」「救急車を呼んだ時、自動ドアはどうなるのか」といったかなり突っ込んだ質問も出るなど、みなさん真剣な眼差しで指導を受けていらっしゃいました。

この経験が、将来一人の命を救うことに繋がるものと確信しています。



「防災食の作り方」見学



お湯ぼちや料理ということで、パスタ、ご飯、おにぎり、使うお鍋、などを展示しました。

今回は展示でしたが、調理体験できるように、12月のハッピーサロンでイベントを行います。

■ハッピーサロン 12月9日（月）13:30-15:00

キッチンスタジオで実際に作る様子を体験していただけます。多くの方のご参加をお待ちしています。

「水消火器・消火栓」訓練、「WELL UP」見学



「水消火器・消火栓訓練」の訓練と「WELL UP」見学を行いました。ピンの抜き方、ホースの向き、レバーの握り方など(株)ニチボウのスタッフより指導を受けながら体験していただきました。

バンダナを使った安否確認訓練



今年も バンダナ掲示訓練を行いました。バンダナがないお宅には、事前に配付する手配を行いました。

9:30 に全館放送の際に「バンダナをドアにかけて！」と協力を訴えるとともに、全体の訓練が終了した後、スタッフが手分けして、各棟各階を回り玄関に掲揚している数を数えてまわりました。



←左の写真は担当者がバンダナを数えにいくところです。

これまでの、年度ごとのバンダナ参加数は、1230件中、2022年30.0%
2023年40.6%でした。

今年の2024年は46.9%でした。（スタッフ不足で、一部カウントできず）
これからもバンダナを使った安否確認訓練は毎年繰り返して行います。

マンホールトイレ展示



今年は初めての試みとして、発災時さながらにG棟とH棟の間の実際のマンホールの上に「マンホールトイレ」を設置展示しました。通行中の人々が覗いていく光景が見られました。

災害時トイレの問題は、食べること以上に待たないで必要に迫られる問題と防災講話の中でもお話がありました。

しかし、設置するマンホールトイレだけでは3000人の居住者を受け入れることはできず、各戸で簡易トイレの備蓄がどうしても必要です。準備は大丈夫ですか？

防災備蓄品展示、ぬり絵の展示、防災アンケート集計報告

グランドエレベーター棟では、11月3日（日）～17日（日）の間、防災備品の展示(管理会社)、ぬり絵の展示、9月に実施した防災アンケート集計結果の報告を行いました。

グランドエレベーター棟は、居住者の通行が多くあることから、防災訓練当日に参加できない人にも防災に関して考えてもらえるよう、目で訴えられるよう掲示しました。

ぬり絵の参加者は49名。元気いっぱいに書かれたぬり絵がたくさん集まり、皆さん足を止めて眺めていらっしゃいました。

防災アンケート結果については、集計結果を持ち帰ってもらえるように日本語版と英語版のレポートも別途用意しました。

アンケートに寄せられた質問のいくつかに回答を載せ、また17日の防災講話でもお話しをいただきました。



防災訓練の成果と今後の課題

■ 成果と課題

自治会長挨拶と鶴野講師の講話の中で「在宅避難」について触れられ、当マンションに即した内容で説明されたことで「在宅避難」の重要性と準備についての理解促進を狙いとなりました。今後、家庭内備蓄や家具転倒防止策等についても具体的な行動につながることを期待しています。

課題としては、毎年の訓練への参加者が100名前後であり、1230戸、3000名が暮らす規模のマンションとしては物足りない感があります。より多くの皆さんに興味をもって参加いただけるメニューを今後とも検討していきたいと思えます。

皆様のご協力ありがとうございました。

